

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                 |            |  |
|---------|-----------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1274000254      |            |  |
| 法人名     | 特定非営利活動法人あい愛    |            |  |
| 事業所名    | こころあいホーム        |            |  |
| 所在地     | 千葉県富里市御料1139-32 |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成25年2月16日      | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                                               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a> |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPO共生    |
| 所在地   | 千葉県柏市光ヶ丘団地3-3-404 |
| 訪問調査日 | 平成25年3月2日         |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

\*利用者が、ゆったりと過ごせるような雰囲気づくり。  
 \*一人暮らしを不安に思う利用者が安全に暮らせるよう最善の注意を払うという意識を高めている。  
 \*利用者だけでなく、家族なども全て包み込んで支援している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所では春には三里塚や空港へ花見に出かける。また利用者の外出グッズにはお茶やペーパーなど必需品が入っていて、何時でも近隣の散歩が可能である。娘さんと一緒に近くの天然温泉へ行く利用者もいる。家族の協力で河口湖への一泊旅行等も実施している。  
 また事業所のリビングは清掃が行き届き明るく、東には広いウッドデッキがある。金魚草、菜の花、梅など季節の花や、ボランティアの「謹賀新年」の書、利用者が折り紙で作ったお雛様、スタッフと共に作った節分の鬼の貼り絵などが飾られ、明るさに華やかさと楽しさを添えている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                                                         | 自己評価                                            | 外部評価                                                                                                         |                   |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|            |     |                                                                                                                             | 実践状況                                            | 実践状況                                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                                                             |                                                 |                                                                                                              |                   |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | 管理者と職員は、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を共有し実践している。          | 3項目からなる事業所独自の理念を目につき易い所に掲示し、毎月のミーティングで確認合っている。独りでいるときの気持ちを汲み取って、決して一日中同じ所に居させない様に心掛けている。                     |                   |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                          | 自治会での説明会、広報、行事等で、近隣の方ボランティア等交流の機会を得ている。         | 地域包括ケアシンポジウムを主催し、看取りについての報告講演会を近くのコミュニティーセンターで行い、地域の人々等多くの参加者を得た。夏祭りには市長や太鼓の会に来てもらい、300人の参加者を得た。             |                   |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                        | 自治会での説明会、あい愛だより等で、地域の方々は、理解している。                |                                                                                                              |                   |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 民生委員、老人会、家族、利用者の方に参加していただき、そこでの意見サービス向上に活かしている。 | 利用者と家族、市の福祉課、民生委員、地区老人会代表が参加し、2ヶ月に1回開催している。行政からの指導、家族の意見・要望、民生委員からの地域の取り組み等、事業所の役割について意見交換がなされている。           |                   |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                               | 積極的に協力関係を築くよう日々取り組んでいる。                         | 市役所及び地域の方々と協力し介護教室を開催し、補助金を受け、地域支え合い体制事業として、シンポジウムも行った。介護相談員が毎月来所し、利用者一人ひとりと話し合いをもち、相談にのってもらっている。            |                   |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 代表者及び全ての職員は身体拘束廃止に日々取り組んでいる。研修会等にも積極的に参加している。   | 「身体拘束排除宣言」を玄関に掲示し、県の行う研修会にも交代で参加し、職員全体が身体拘束についての理解を深め、ケアに取り組んでいる。利用者は、外出時に行きたい所へ行き、生家に行ったり、途中で買い物を楽しんだりしている。 |                   |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 外部研修、ミーティング等で話し合い防止に努めている。                      |                                                                                                              |                   |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                              | 外部評価                                                                                              |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                              | 実践状況                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修やミーティング時に学ぶ機会を持った。それらを活用できるよう取り組んでいる。           |                                                                                                   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行っている。                     |                                                                                                   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 家族会や来所の際意見交換し、外部者へ表わせる機会を設け、反映させている。              | 毎月昼食時に併せて開催される家族会には、常に6～7人が参加し、事業所の前の畑で収穫した野菜を材料にした昼食を一緒にとりながら、意見を聞き運営に反映させている。                   |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 日々意見交換を行っている。またミーティング時にも意見情報を共有する機会を設け運営に反映させている。 | 毎月定例の職員ミーティング及び管理者ミーティングを行い、その場での意見・提案を運営に反映させている。また、年2回自己評価を職員一人ひとりに書いてもらい、そこでの意見・要望も運営に反映させている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員が向上心を持って働けるよう努めている。                             |                                                                                                   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 研修の機会を確保し働きながらトレーニングしている。                         |                                                                                                   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 研修の機会を積極的に確保し活動を通じ質の向上に取り組んでいる。                   |                                                                                                   |                   |

| 自己                  | 外部  | 項 目                                                                                  | 自己評価                                                                  | 外部評価                                                                                              |                   |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                     |     |                                                                                      | 実践状況                                                                  | 実践状況                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                       |                                                                                                   |                   |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人が困っていることや不安や要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係作りに努めている。                    |                                                                                                   |                   |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 困っていることや不安や要望等に耳を傾けながら、関係作りに努めている。                                    |                                                                                                   |                   |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | そのとき一番に必要な支援を見極め、対応に努めている。                                            |                                                                                                   |                   |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 職員も利用者も区別なく家族一員として物事の良し悪しをはっきりとし、時には叱り時には笑い合い、時々泣き、一つの家族としての関係を築いている。 |                                                                                                   |                   |
| 19                  |     | ○本人と共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 本人と家族の絆を大切にし、ともに本人を支えて行く関係を築いている。                                     |                                                                                                   |                   |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 家族や知人、馴染みのスーパーや食堂等、関係が途切れないよう努めている。希望があればいつでも自宅へ行けるよう支援している。          | それぞれの居室には自宅で使用していた家具等が持ち込まれ、生活の継続性に配慮している。入居前から取引のある銀行の顔見知りの行員に来所してもらったりして、地域との絆が保たれるよう、支援に努めている。 |                   |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 一人ひとりが孤立せず支え合えるように支援している。関係に問題が生じた場合は早期に対応し、また事前解決に努めている。             |                                                                                                   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                      | 自己評価                                                    | 外部評価                                                                                          |                   |
|------------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                         | 実践状況                                                    | 実践状況                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 行事や研修にお誘いしたり、関係を大切に、相談や支援に努めている。                        |                                                                                               |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                         |                                                         |                                                                                               |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                            | 日々の生活の中で思いや暮らし方の希望、意向を把握し、本人本位に検討している。                  | 本人の思いや意向は日々のコミュニケーション等から把握している。意向の把握が難しい場合は、家族や絶えず利用者と接しているスタッフから話を聞き、アセスメントを行い表情やしぐさで確認している。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                        | 家族からの情報や会話や日々の生活の中から生活歴や馴染みの暮らし方等の把握に努めている。             |                                                                                               |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                      | 職員全員が連携を密にとり暮らしの現状の把握に努めている。                            |                                                                                               |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ミーティングに促われず日々の生活の中で常に意見やアイディアを反映し、家族会や家族来所時に話し合い作成している。 | 利用者の状況は日々の介護記録による経過と職員の報告に基づきモニタリングされ、家族と情報を共有しながら介護計画を立案している。介護計画は長期、短期に拘らず必要に応じて見直している。     |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | 日々の様子を職員間で共有し連携をとっている。また記録や連絡ノートを活用し見直しに活かしている。         |                                                                                               |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに促されない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                | その時その時に必要な支援に日々柔軟に対応し、一人ひとりのサービスの多機能化に取り組んでいる。          |                                                                                               |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                 | 自己評価                                                   | 外部評価                                                                                                |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                   | 実践状況                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 買物や散歩で近隣との触れ合い、知人及び介護相談員、ボランティア等で豊かな暮らしを楽しむよう支援している。   |                                                                                                     |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 本人や家族と話し合い、かかりつけ医を決定し、適切な医療を受けられるよう支援している。             | 利用者は月に一度連携するクリニックで定期検診を受けている。またかかりつけ医での受診を希望する場合は職員が支援しているが、離れている場合などは利用者の負担を考慮し、近隣の医療機関での受診を勧めている。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 利用者の体調の変化を看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。              |                                                                                                     |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 協力病院及び主治医と情報交換や相談を密にとり連携を図っている。                        |                                                                                                     |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 本人、家族と話し合い事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、関係者と共にチームで取り組んでいる。 | 利用者の重度化や終末期についての支援は、本人・家族が最後までホームで暮らしたいという希望がある場合、家族、連携医療機関、看護師、担当スタッフと相談の上、希望を叶えられるように支援体制を整えている。  |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | ミーティング時や研修にて定期的に訓練を行い対応できるようにしている。                     |                                                                                                     |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 定期的に防災訓練を行い、避難方法を全職員が身につけている。                          | スプリンクラーを設置し、毎年定期的に消防署の立会いの下、避難訓練等を実施している。また他にも初期消火・避難・通報・機器点検等の自主訓練を実施している。災害時には管理者の他近隣住民の支援も得られる。  |                   |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                                       | 自己評価                                                              | 外部評価                                                                                                                 |                   |  |
|--------------------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--|
|                          |      |                                                                                           | 実践状況                                                              | 実践状況                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                           |                                                                   |                                                                                                                      |                   |  |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                            | 一人ひとりの人格を尊重し、尊厳を大切に、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。                        | 台所が大好き、洗濯物を畳むことが好き等本人の<br>できることを評価し、居室の掃除も原則として利用<br>者が行い、出来ない所だけスタッフが支援する。ま<br>た入浴介助、トイレ使用時、更衣時にはプライバ<br>シーに配慮している。 |                   |  |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自<br>己決定できるように働きかけている                          | 日々の何気ない会話や本人の様子等から、<br>さりげなく自己決定ができるよう働きかけて<br>いる。                |                                                                                                                      |                   |  |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一<br>人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように<br>過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の希望を優先し本人のペースを大切に<br>している。                                      |                                                                                                                      |                   |  |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように<br>支援している                                       | ヘアカットや毛染め、顔そり等、身だしなみ<br>やおしゃれができるよう支援している。                        |                                                                                                                      |                   |  |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み<br>や力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備<br>や食事、片付けをしている      | 一緒に買い物に行き食材を選びながら献立<br>を考え共に調理し、食事を楽しんでいる。片<br>付けも共に会話をしながら行っている。 | 利用者には食材の購入時に、長年培った経験を活<br>かし、焼き魚が良いか煮魚が良いか等、調理を念<br>頭に置きながら魚を選んで貰う。下拵えから調理、<br>盛り付け、配膳、食器洗いまで得意な部分を分担<br>して貰っている。    |                   |  |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて<br>確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応<br>じた支援をしている           | 利用者一人ひとりの状態に合わせた食事<br>量、水分量、形態等にその都度すぐ対応す<br>る取組を行っている。           |                                                                                                                      |                   |  |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一<br>人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア<br>をしている                    | 毎食後、一人ひとりの本人の力及び口腔状<br>態に応じた口腔ケアを行っている。                           |                                                                                                                      |                   |  |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                          | 自己評価                                                                                                  | 外部評価                                                                                                               |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                                  | 実践状況                                                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 一人ひとりの力や排泄パターンを把握し心地好い排泄ができるように柔軟に排泄環境に取り組んでいる。                                                       | 服薬等も考慮しつつ排泄記録を基に、また行動や表情から自立支援を主とした排泄誘導を行っている。おむつやパッドは極力避け、布パンの着用を勧めている。トイレは、利用者が常時使用できる様、5ヶ所設置している。               |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 野菜や乳製品水分等を多く摂って頂けるよう調理方法及び味、形状に変化をつけた取組を行っている。                                                        |                                                                                                                    |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 一人ひとりの体調や気分及び希望に沿った入浴支援を行っている。一日を通しいつでも入浴できる(午前、午後、寝る前等)。                                             | 入浴は午後行っているが、天候や利用者の希望にあわせ随時入浴可能としている。本人の皮膚が著しく乾燥している場合などは、入浴日を調整し足浴とすることがある。また毎朝、陰臀部洗浄を行い、清潔の保持に努めている。             |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | その時々様子に応じて、リビングでの座敷や居室で休憩をとったり、温度、湿度の調節をこまめに行い、心地よく安眠できるように取り組んでいる。                                   |                                                                                                                    |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 服薬に対しての疑問や変更があった場合、その都度説明を行い、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。                                                    |                                                                                                                    |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとりが発揮できるよう、日々の生活の中で役割や楽しみをとりいれ感動した生活が送れるよう支援している。                                                  |                                                                                                                    |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりのその日の希望に沿って、何時でも戸外に出かけられる(本人用の外出グッズを玄関に準備している方もいる)。本人と家族が楽しく外出できるよう、家族と常に相談しながら、希望に沿った外出支援をしている。 | 春には三里塚や空港へ花見に出かける。また利用者の外出グッズにはお茶やペーパーなど必需品が入っていて、何時でも近隣の散歩が可能である。娘さんと一緒に近くの天然温泉へ行く利用者もいる。家族の協力で河口湖への一泊旅行等も実施している。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                                                                        |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 本人の希望でお金を所持している。                                                 |                                                                                                                             |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 本人の希望に応じて、電話をしたり手紙のやり取りができるよう、支援している。                            |                                                                                                                             |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居心地良く過ごせるよう環境整備をこまめに行っている。<br>季節の草花や季節に合った掲示物を作り飾っている。           | リビングは清掃が行き届き明るく、東には広いウッドデッキがある。金魚草、菜の花、梅など季節の花や、ボランティアの「謹賀新年」の書、利用者が折り紙で作ったお雛様、スタッフと共に作った節分の鬼の貼り絵などが飾られ、明るさに華やかさと楽しさを添えている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | リビング、台所、座敷、こたつ、デッキ等で共同生活を味わって頂きながら、一人ひとり思い思いに過ごせるよう、居場所の工夫をしている。 |                                                                                                                             |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 本人、家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを使用し、居心地良く過ごせている。                      | 洋室を本人・家族の希望で畳敷きに改装した居室もある。持ち込み家具は居室に入る範囲で制限はなく、必要なものは家族と相談しながら揃えているが、利用者の使い慣れた馴染みの家具や仏壇などの持ち込みもある。                          |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 一人ひとりの力を活かして、安全にできるだけ自立した生活が送れている。                               |                                                                                                                             |                   |

**目標達成計画**

(今回の評価を元に次年度への目標をご記入下さい。今年度評価書と共に県およびWAMNETに掲載されます。作成日：平成 25 年 4

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を  
具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |          |                                                |                                                  |                                                                |
|----------|----------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                                   | 目標                                               | 目標達成に向けた具体的                                                    |
| 1        | 25       | 暮らしの現状把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、<br>有する力等の現状の把握 | 要介護度5であっても、全身を使って自分の<br>意思を伝えることができるので、残存機能を見出す。 | 家族からの情報や利用者間<br>にする。日中リビングで過ご<br>利用者の話し声、歌声、物<br>け、手を握る等のスキンシッ |
| 2        |          |                                                |                                                  |                                                                |
| 3        |          |                                                |                                                  |                                                                |
| 4        |          |                                                |                                                  |                                                                |
| 5        |          |                                                |                                                  |                                                                |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。